

にこり

ながさき

ようこそ、笑顔咲く長崎県へ

Nagasaki Discovery Magazine ni-ko-ri

長崎県



Tsushima Islands
Tsuharu & Minsushima

国境の島

対馬

No.

09

特別企画展 孫文 梅屋庄吉 と長崎

日中国交正常化40周年／長崎県・上海市友好交流関係樹立15周年記念

Sun Yat-Sen x Umeya Shokichi x Nagasaki



革命に生きた男と、生涯をかけそれを支援した男。100年の時を経て、いまよみがえる友情の物語。

2011.10/1[sat]—2012.3/25[sun] 長崎歴史文化博物館

開館時間 | 8:30～19:00(入館は18:30まで) ※毎月第3火曜日は休館日 3F 企画展示室

観覧料 | 大人800円(700円)／小中高生400円(350円) 主 催：長崎県、長崎市、長崎歴史文化博物館 画像提供：梅屋庄吉の曾孫 小坂文乃

にこり

表紙のはなし チョゴリ(女性用)
朝鮮民族衣装の上着。チマという床丈のスカートとともに用いる。釜山港まつり対馬アヒラン祭の朝鮮通信使行列では、韓国からの参加者がチマチョゴリを着て華やかに街を練り歩く。

平成23年9月発行
編集・発行／長崎県広報課 〒850-8570 長崎市江戸町2-13
電話095-895-2021 メール:ni-ko-ri@pref.nagasaki.lg.jp
デザイン／(有)イーズワークス 印刷／(株)インテックス
http://www.pref.nagasaki.jp/koho/plaza/dream/

長崎県

定期購読(無料)の申込はこちら



ふるさと再発見

国境の島 対馬へ

Tsushima Islands
Izuhara & Mitsushima



島の軍神は
いま島人たちに
守られている

国

際情勢が緊張するたびに、その地理的条件から幾度となく国防の最前線としての役割を果たしてきた対馬。時代に翻弄され続けたこの島は、鎌倉時代から幕末までの約六百年間、宗氏という一族によって統治されてきた。その宗氏の初代資国は現在、島の西側にある「小茂田浜神社」に祀られている。

「二七四年十月五日、対馬は元と高麗の連合軍の襲撃を受ける。いわゆる元寇である。このとき資国は小茂田に上陸した約千人の軍勢に対し、わずか八十余騎を従えて、自ら戦った。そ

の戦いの激しさは、「お首塚」や「お胴塚」としてバラバラに存在する資国の墓が物語っている。

小茂田浜神社では毎年十一月に慰霊の大祭が行われている。この日、地元の人々は資国をはじめ、国難に殉じた人々を鎮魂しようと、鎧兜を身に着け武者行列を組む。神社には代々祭りで使われてきた鎧兜が大切に保管されていた。地元の人はいこう話す。「対馬の人は皆、資国が島を救ってくれたと思っています。だから祭りの日は近くの小中学校は午後から休み。大人も子どももみんなで感謝の気持ちを表すんですよ」。百年以上も前のものだという鎧兜はすり切れ、錆びていた。人々が長きに渡って慰霊を続けてきた何よりの証拠だ。

初代資国の壮絶な死で幕開けした宗氏の苦難と奮闘の歴史。今回は、宗氏が生き抜いてきた道を辿りながら、知られざる国境の島を旅する。



為政以德印

国書偽造のために必要だったのが印鑑の偽造。これは朝鮮国書に捺される国王印を偽造したもの。科学分析によって、1590年の豊臣秀吉宛の朝鮮国印と同じものであることが判明している。写真は複製。（現物は九州国立博物館蔵）

歴史を変えた 国書偽造には、 対馬の存亡を賭けた 決断があつた

ガイドの西渡さん

対馬観光物産協会きつての対馬通。大変分かりやすい説明に深い郷土愛を感じた。

対馬観光物産協会
対馬市厳原町国分1441
TEL.0920-52-1566

対馬観光物産協会 検索



命じたのである。秀吉の鶴の一声で大事な交易相手に戦いを挑む羽目になった義智は、水面下で様々な和平交渉を行ったという。しかし力及ばず朝鮮出兵は実行に移されてしまう。

このとき秀吉は戦いに備えて現在の厳原町にある清水山に山城を築かせている。今も清水山の山頂から麓に向かって一の丸、二の丸、三の丸の三つの遺構があると聞き、三の丸へ登った。城跡からは厳原港と市街地が一望でき、その景観は見事。だが、それ以上に目を惹くのが積み上げられた石垣である。山頂まで約五百メートルに渡って続くという石垣に秀吉の強大な力と、大事な交易相手である朝鮮へ戦いを挑まねばならなかった義智の苦悩を感じる。神霊が宿る山として人々に信仰されていた清水山に城を築いた秀吉は、結局朝鮮出兵に失敗する。

秀吉の死後、政権を握った徳川家康は朝鮮と友好関係を結ぶことを望んだ。関係修復の役目を命じられたのは、またもや義智であった。しかし、当然のことながら一度戦争を仕掛けられた朝鮮は簡単には承諾してはくれない。朝鮮側は戦いで捕虜と

なった朝鮮人の送還や、朝鮮王の墓を暴いた犯人の引渡しなど様々な要求を突きつける。中でも最も義智を悩ませたのが「家康が先に国書を送ること」という要求だった。「戦争をしたのは秀吉であつて自分ではない」と主張する家康。窮地に陥った義智は、なんと国書を偽造するという奇策に打って出る。露見すれば、切腹どころかお家断絶ともなろうかというこの策は繰り返し行われ、結果、和平交渉は成立。この功績が認められた義智は、対馬藩の初代藩主となるが、義智自身は朝鮮貿易が再開した六年後の二六五年、「国書偽造がいつか露見するのではないか」という大きな不安を抱えながらこの世を去る。

義智の息子である義成は父の死後、その冥福を願う万松院を建立する。本堂にはひっそりと「三具足」が飾られていた。三具足とは、仏菩薩に献じるための花瓶、香炉、燭台の三種類を一組としたもので、これは対馬藩主が代替わりの折りに朝鮮国王から贈られた品だという。義智の奔走は、後代になって見事に花開いたのである。

資

国の死から約三百年後、十九代義智の時代に対馬は再び危機に見舞われることとなる。当時、対馬は朝鮮と友好関係を築いており、対馬の経済は朝鮮との交易によって潤っていた。そこに豊臣秀吉が朝鮮出兵を掲げ、その先導役を義智に

厳原

Tsushima
Izuhara



万松院の百龍木



宗家の居城であった金石城の石垣がそのまま使われているプール。まちの中に歴史が息づいている。



三の丸の石垣



清水山から厳原市街を望む

清

水山の麓に鎮座する「厳原八幡宮神社」は古くから島の人々の崇敬を集めてきた神社であり、今でも多くの人が参拝に訪れる。境内の宝物殿に

二代藩主義成が奉納したという「高時絵三十六歌仙額」が飾られていた。塗料は多少落ちているものの、その美しさから大変高価なものだということがかうかえる。義成がこんなにも立派なものを奉納したのには理由があった。

義智の死後、国書偽造は義成と対立していた重臣によって、幕府へ暴露されてしまう。義智の不安が的中したのである。幕府を揺るがす大事件となったこの一件は、一六三五年、将軍家光直々の裁決により義成は無罪、宗家の追放を企んだ重臣は流罪という形で決着した。国書偽造が暴露され、お家断絶を覚悟した義成は何度も八幡様へ足を運び、手を合わせたのだろう。事件が一件落着し、跡継ぎも生まれた



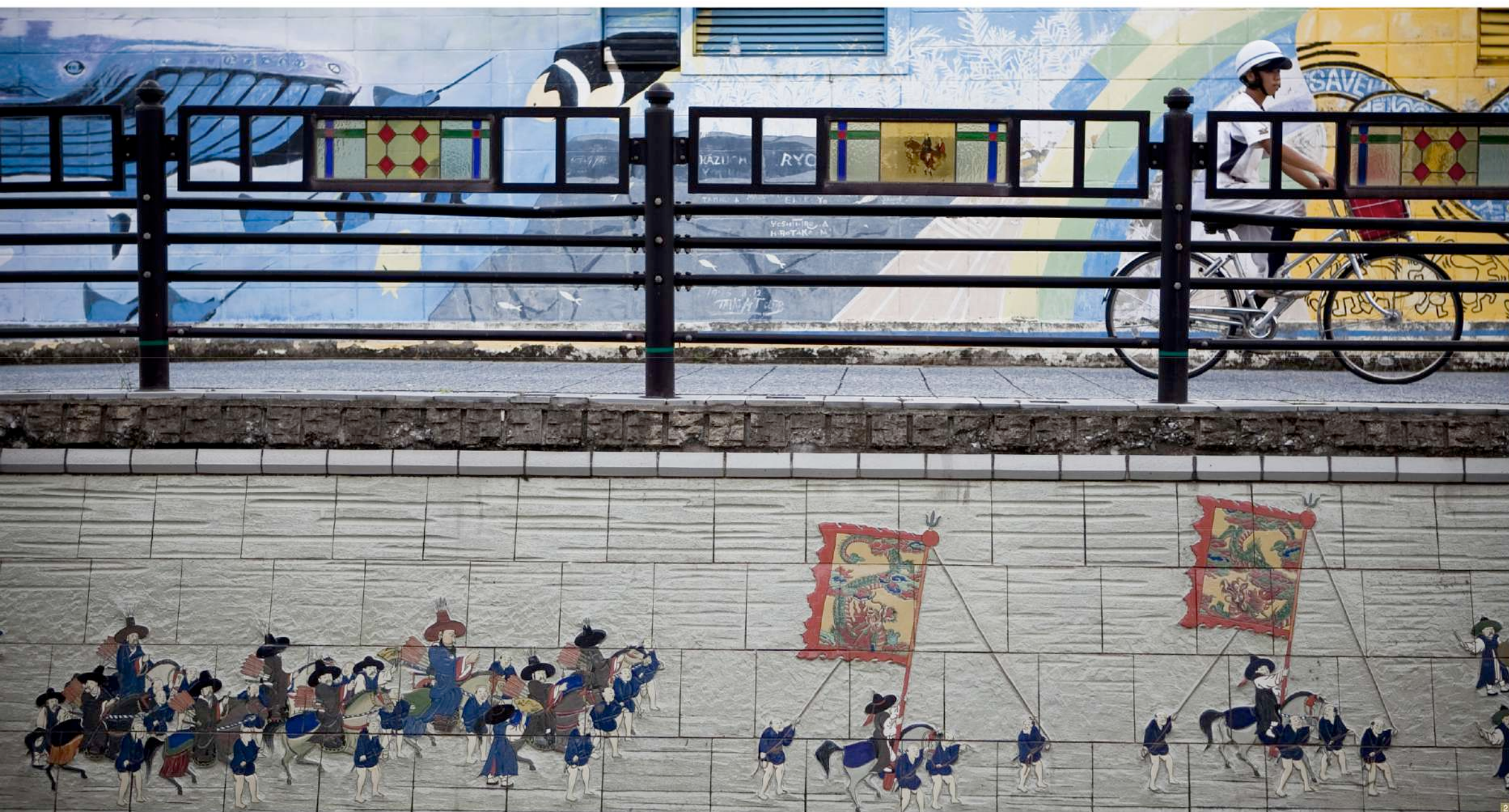
350年以上も前のものとは思われない美しさの「高時絵三十六歌仙額」。義成の感謝と安堵が伝わってくるようだ。

義成は、感謝の気持ちを込めて豪華な蒔絵を贈ったのだという。

この古社には、義智の正室である小西マリアも祀られている。義智はキリシタンであるマリアの勧めで洗礼を受けるが、マリアの父である小西行長が関ヶ原の戦いで敗れると、家康をはばかりマリアと離縁、信仰も捨てた。仕事だけでなく、家庭でも時代に翻弄された義智。しかし彼が払った犠牲は、その後対馬の繁栄へとつながっていく。

一六〇七年、朝鮮から最初の通信使が訪れる。以来、約二百年間に渡り、合計十二回の朝鮮通信使が日本を訪れている。その交流の歴史は今も続いており、島では毎年「厳原港まつり対馬アリアン祭」が開催され、当時を彷彿させる色鮮やかな衣装をまとった朝鮮通信使行列が行われている。厳原のまちにはこの頃の面影が色濃く残っている。大小様々な石が積み上げられた趣ある石垣や、まちなかで見かける朝鮮通信使をモチーフにした壁画など、往時の面影が色濃く残る厳原のまち。時代に振り回されながらも、人々の営みの中に残っていたのは、国を越えた人々との心のつながりだった。

厳原のまちを歩けば、 朝鮮通信使に 出会う



■小西マリアを祀った今宮若宮神社。キリシタンのマリアが神社に祀られているのも不思議だが、これは義智の側室が祀ったという。そこにも謎がありそうだ。■まちの中心を流れる厳原本川の壁面には朝鮮通信使の行列が描かれている。ここで暮らす人々は朝鮮通信使の歴史と共に歩んできたのだろう。■厳原のまちのいたるところで見かける当時の石垣。城下町の風情が漂う。■対馬名物の「かすまき」。「対馬にはお菓子屋はなく、あるのはかすまき屋さんです」とガイドの西さん。





美津島

Tsushima Mitsushima

無 数の入江が複雑な海岸線を形成する浅茅湾。この変化に富んだフィールドを楽しむもうと、いま人気を集めているのがシーカヤックだ。今回は「対馬エコツアー」の上野芳喜さん、調英実さんと一緒に三時間コースにチャレンジ。パドルの使い方など簡単なレクチャーを受けたあと、すぐに出港した。

シーカヤックの魅力は何といっても海拔0メートルの目線。遊覧船では味わうことができない、まるで海面に座っているかのような感覚は、シーカヤックならではの。シーカヤックは全国各地で楽しめるが、上野さんは「これだけ人工的な建造物がないのは対馬だけではないでしようか」という。確かに見渡す限り自然、自然、自然である。様々な表情を見せる岩肌や、日本では対馬だけに自生するというオレンジ色のハクウンキスゲなど、次々に展開される目の前の風景の圧倒的な迫力は感動的である。

ガイドのお二人は「シーカヤックで海拔0メートルを楽しむのは当たり前。そこで何を見ることが出来るかが大きなポイントです。対馬には本物の歴史と自然があります」と話してくれました。対馬の自然は千三百年前と変わっていない。海を臨めば、防人たちが見た風景が広がっている。

歴史と自然に出会える
対馬ならではの
シーカヤック



調英実さん 上野芳喜さん
対馬エコツアー
対馬市美津島町箕形33
TEL.0920-54-3595
対馬エコツアー 検索

白村江で、唐・新羅連合軍との戦いに大敗した日本が、国防のために築いた山城「金田城跡」が見えてくる。ここは、対馬が国境の島となる歴史の始まりの場所である。金田城では、東国から集められた防人たちが配置され、来る日も来る日も海を睥睨（にら）んでいた。本土から離れたこの地への派遣が決まった防人たちは、「生きて帰れないかもしれない」という不安を抱え、三年の任期に就いたという。

山道を登ると、石が高く積み上げられた城壁が見えてきた。この城壁は二・八キロメートルも続いているという。千三百年前に防人たちがひとつひとつ積み上げた石。触れると、教科書で習ったモノクロの歴史に一気に色が付いたような気がした。



浅茅湾の名所の一つ鉾割岩



山道では不思議な景色に出会う



防人たちが積み上げた金田城の石垣

出港して初めて人工の建造物が姿を現した。古い鳥居である。「上陸しますよ」と上野さん。五分ほど山道を登ると、今から千三百年以上も前に朝鮮半島の

杉焼き料理

志まもと

朝鮮通信使に最も好まれたという日本料理「杉焼き料理」。季節の野菜や魚介類を杉の薄板に包んで蒸したもので、味噌を付け、出汁を注いでいただく。器の蓋を開けた途端に杉の香りが広がり、素材の味がしっかり出ていて美味。最後の朝鮮通信使来日から200周年にあたる今年、地元の料理人たちが復活させた古くて、新しい郷土料理だ。

対馬市厳原町国分1380
tel.0920-52-5252



ひめがみ漬

対馬ひめがみ



千切りにした剣先イカの耳を麺に漬けた塩辛。対馬でも緒方地区にだけ伝わる家庭料理を「対馬ひめがみ」のみなさんが一年前に商品化。ご飯もお酒もすすむ逸品はコリコリの食感が特徴だ。昆布入りやコチジャン入りもあり。商品名は緒方地区のシンボル「姫神山」から名付けられた。

対馬市美津島町緒方112-7
tel.0920-54-2287



トロの華の漬け井

対馬ふるさと伝承館

最高級の対馬産養殖マグロ「トロの華」を使った漬け井。特製のタレに漬け込んだ新鮮な本マグロの中トロと赤身をたっぷりとのせた贅沢さがたまらない。分厚い身は引き締まり、脂ののり具合も最高!

対馬市美津島町鶏知乙461-6
tel.0920-54-8311



「地元の特産品をバーガーに!」と考案されたのがこちら。パンズに挟まれているのは、なんとヒジギを練り込んだパティとバター醤油で味付けしたイカ。一見奇妙な取り合わせだが、特製ソースも効いて絶品である。「ロッピー」と名付けられたドリンクの下に沈んでいる黒い粒は、自家製のシロップに漬け込んだろくべえ。モチモチプルプルの食感で、これまたいい意味で期待を裏切ってくれる。

対馬市厳原町大手橋1052対馬屋台横町1F
tel.0920-52-0873



対馬で出会ったおいしいもの



穴子の白焼きと穴子の洗い

志まもと



穴子の水揚げ量日本一を誇る対馬。脂ののった特大の穴子は驚くほど身が厚い。この穴子を白焼きや洗いであくのが対馬流。白焼きはわさび醤油または薬塩で、洗いは酢ぬたまたは醤油でいただく。ふっくら、もちりの穴子は対馬ならではの味だ。

対馬市厳原町国分1380
tel.0920-52-5252

対馬ふるさと倶楽部

Quta対馬藻塩プリン

ミネラル豊富な対馬のひじき藻塩にこだわったコクのある半熟タイプのプリン。プレーンのほか博多のあまおう、佐賀の嬉野茶、熊本のかき粉、大分のかぼすなど、8種類の九州各県の味を楽しめる対馬の新しいスイーツだ。

対馬市厳原町久田1-1
tel.0920-52-7012



対馬バーガーとロッピー

対馬バーガーK.i.Y.O

清酒「白嶽」と焼酎「やまねこ」

河内酒造

大正8年創業の対馬唯一の酒蔵が造る清酒と焼酎。水源の森百選に選ばれた「鶏鳴水源の森」の伏流水で造られる「白嶽」は、数々の賞も受賞している逸品。麦焼酎と米焼酎を8対2の割合でブレンドした珍しい麦米焼酎「やまねこ」はあっさりとした味わいで、飲みやすいと好評だ。

対馬市美津島町鶏知甲490-1
tel.0920-54-2010
河内酒造 検索



島人たちの知恵は
生き抜くことに
使われる。

対 馬では石屋根の建物を目
にすることがある。この
建物は住居ではなく倉庫。冬に
吹く朝鮮風と呼ばれる強い北西
風から財産を守るために生みだ
されたものである。数は減って
いるものの、椎根地区にはまだ
いくつか石屋根の風景が残って
いる。

石屋根倉庫に腰を下ろし、お
しゃべりをしているおばあちゃ
んたちに会った。石屋根につい
て尋ねると「朝鮮風は北海道の
風より冷たか」とい。「いつ頃か
らあるかって？ 私らの小さい
頃にはもうあつたもんねえ」「床
も高かし湿気もこんけん、家具
も布団も入れられるとよ」。

石屋根の材料で頁岩と呼ばれ
る石や柱に使われている椎材、壁
や床に使われている松材はすべ
て島内で産出されたものである。

おばあちゃんたちはここで生
まれ、ここで育ち、ここで嫁い
だのだという。「言葉に出さん
でも、みんな同じ苦労ばしてき
たのが分かるけんね」「だけん、
みんなでのんびりできる今が本
当に幸せか」と笑った。

おばあちゃんたちのおしゃべ
りはいつまでも続いた。



小島進さんは対馬で唯一の鍛冶職人である。幼い頃に両親を亡くし、鍛冶屋に奉公。紆余曲折を経て昭和二十八年に鍛冶屋として独立し、まもなく幼なじみのキイさんと結婚。以来、二人で鍛冶屋を営んできた。

進さんはピッケル作りの名手として注目を集めている。ピッケルとは、雪山に登る際に足場切りや滑落防止などに使用するつるはし状の登山用具。つまり氷点下の世界で登山家たちの命を支える道具である。

ピッケルとの出会いは一本の注文からだ。ピッケルという言葉を知らなかった進さんだったが、実物を見せてもらった瞬間、「これなら出来るかもしれない」と思い、引き受けたという。それが好評で、注文主から登山仲間に一気に広まった。進さんは注文主から要望を聞き、それに応えるように一本一本大事に作る。作業中は注文主の言葉を繰り返しながら、ただ喜んでもらいたい一心で手を動かすそうだ。その見事な出来映えはやがて登山家の間で評判になり、いつしか全国いや海外の登山家からも注文が来るようになった。ピッケルには装飾用も

あり、記念品として贈られることもあるという。「家紋を彫れないか」「象嵌はできないか」という要望にも応える。美しく繊細なデザインとそれを生み出す技術は、すべて進さんが独学で習得したものである。

小さな工房は夫婦二人の歴史が刻まれているような空間だった。暑い時は室温が五十度にも達するという中、作業は始まった。進さんが火から取り出した鉄をキイさんがハンマーでトンカントンカン叩く。小柄なキイさんが三・五キロもあるハンマーを振り下ろす。その姿には驚いた。「これでも軽か方のハンマーです。もうずいっとしよるけん、どがんなかなかです」と笑う。進さんは「かあちゃんは陣痛が来てもハンマー振りよったけんね。この人がおらんばピッケルもできんとです。装飾も私だけが評価されますが、かあちゃんの一言がアイデアになるとですよ」と話してくれた。緑豊かな静かな場所、二人はピッケルを作り続けてきた。五十年間で作ったピッケルは約二千本。ピッケルの数だけ二人は想いを積み重ねてきたのかもしれない。

ニコロ
スト
地域特集
下対馬
鍛冶原町
Izuhara & Misushima
美津島町

夫婦二人三脚で
世界に注目される
ピッケルをつくる

小島進さん
Kojima Susumu
& Kii

キイさん



こじますすむ こじまきい
ともに1932年、対馬市鍛冶原町久根浜生まれ。22歳の時に結婚し、以来ずっと2人で鍛冶屋を営む。ピッケル作りも2人の共同作業。進さんはピッケル作りの技術が評価され、平成16年度の「森の名手・名人100人」に選ばれた。現在79歳でともに現役。

対馬打鉄
対馬市鍛冶原町久根浜747
TEL.0920-57-0571

このコーナーでは
地域を愛する人で、伝統芸能や伝統技術を大切に守り伝えている人やまちおこし、珍しいことに取り組んでいる人などを紹介します。

二人だからできた、
二人だから続けられた。

恵みの歳時記

日本初の試みは

対馬から始まった。

塩づくりへの新たな挑戦

対馬の塩

美味しい塩をつくるのは当たり前。

対馬では今、環境にやさしく、

地域経済を支援する塩づくりが始まっている。

その驚くべき方法は、まさに対馬ならではの。

塩づくりの歴史を変える新たな挑戦に迫る。

日本一おいしい対馬の塩を
もっと多くの人に届けたい

美味しい塩は、美しい海水からしか生まれない。対馬の塩はこの基本条件を見事にクリアしている。対馬の海岸は、**志岐対馬国定公園**に認定されており、天然の海藻が生い茂る清らかな海水に恵まれているからだ。東京に本社を構える塩メーカーの老舗「**白松**」の代表を務める**白木柱介**さんは言う。「先人觀をすべて捨て、日本全国の塩を食べ比べてみ

ました。そうしたら対馬の塩が一番おいしかったんです」。対馬でなんとか塩づくりができないかと考えていたとき**白木**さんが出会ったのが、兄弟で塩づくりをしていた**権藤正展**さんだ。二人はタッグを組み、二〇〇四年、対馬の竹敷地区に「**浜御塩工房**」を設立。権藤さんが工場長となり、ここからすべてが始まった。

地域を元気にする 最良のサイクルで 美味しい塩をつくる

浅茅湾の南に位置する竹敷の地は、山と海に囲まれた場所。この静かな地で新たな塩づくりは始まっていた。浜御塩工房では対馬海流の海水を汲み上げ、天日と風の力を利用して海水濃度を高めながら濃縮。それを伝統的な平釜で二十四時間以上炊き上げ、塩を結晶化させる昔ながらの方法を採用している。

新しい試みのポイントは燃料にあった。平釜を二十四時間稼働させるためには相当の燃料が必要である。これまで工房では重油を使っており、多い時は一日四千リットルを使用していたという。この燃料を他のもので代用できないかと考えた結果、たどり着いたのが対馬産間伐材の破材からできる「木質チップ」だった。

人工林の成長には間伐が不可欠。

全国的にも間伐材は大きな問題となっているが、対馬も例外ではない。対馬の人工林ではヒノキや杉などの間伐材の約七十五パーセント、三十万本が未利用材として山に残されているという。浜御塩工房では二〇一一年一月から、この間伐材のうち建材として利用できない破材を購入し、それを燃料に塩づくりを始めた。

重油の代わりに木質チップを燃料にすることで生み出されるものは多い。①間伐材を利用することで森林は成長する。②林業が活性化され、地域産業や雇用の促進に繋がる。③環境にやさしい（木は二酸化炭素を取り込み成長し、専用ボイラーで燃焼する際に成長時に取り込んだのと同量の二酸化炭素を放出するという考え方では、二酸化炭素排出量はゼロ

と計算される）。④対馬産の間伐材を対馬で消費するため、物流に伴う二酸化炭素排出量が重油に比べて少ない。

森が豊かになれば、海が豊かになる。海が豊かになれば、美味しい塩ができるのである。「この取り組みは美しい海があり、山が多い対馬だからこそできるんです」と白木さんは話す。

浜御塩工房では徹底した衛生管理のもと、一日に約四百五十キログラムの塩が作られている。塩職人たちは釜から上げるタイミングなどを見計らいながら、熟練の技を光らせる。伝統的な技と新しい技術の融合で生まれた塩は「えこそ」と名付けられ、全国へと出荷されている。



「えこそ」とは粗塩、焼塩、薄塩の3種類。対馬を救う取り組みがそのままネーミングとなった。

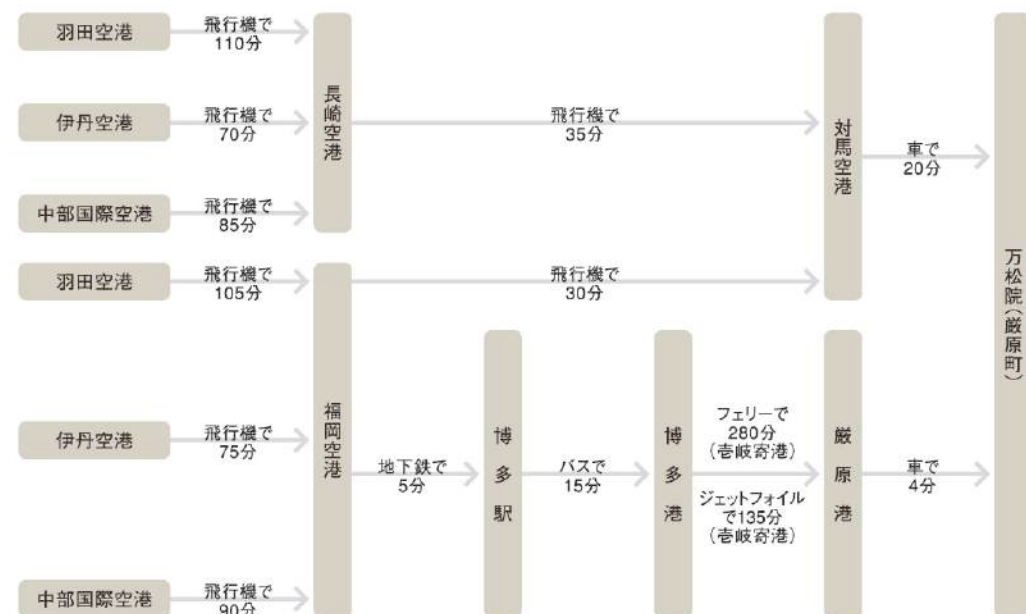
白松（浜御塩工房）
対馬市美津島町
竹敷深浦4-133
TEL.0920-54-8090

白松 検索

塩づくりのための燃料は重油ではなく、すべて間伐材を利用したこの木質チップ。



対馬へのアクセス



お知らせ

にこりホームページ

本誌がインターネットでも楽しめます。誌面で紹介している記事はもちろん、動画や取材メモなど追加情報も掲載しています。ぜひアクセスしてください。

WEBで

メルマガ長崎県

長崎県から第1・第3水曜日の毎月2回、無料で届くメールマガジン。県内の観光情報やおすすめイベント情報などを写真付きでより見やすく、わかりやすくご紹介いたします。プレゼントコーナーもあります。ぜひご愛読ください。

WEBで

お詫び 第8号P20の長崎県地図に誤りがありました。長崎市の外海・琴海地区が白く塗りつぶされていませんでした。関係者の皆さまにお詫び申し上げます。

語りかける風景 3



シーカヤックツアーで金田城跡を見るために上陸したときのことだった。見学を終え山道を下つてくると、その場に残っていたガイドの調さんが満面の笑みで「どうぞ」と差し出してくれた。なんと、もろきゅうである。太陽の下、一時間以上カヤックを漕ぎ、体はクタクタ。粹なチョイスと素敵なおもてなしに「瞬間言葉を失った」。

上野さんが「対馬エコツアー」を設立したのは七年前。以来、訪れる人に対馬の魅力伝えていく。しかし対馬の自然や歴史以上に、きつとお二人が人々の心を動かしてきたのだと思う。

「トマトと藻塩の日もあるんですよ」真つ黒に目焼けた顔に少年のような笑みがこぼれる。今ときこんなにも楽しそうに笑うおじさんにはめったにお目にかかれない。みずみずしくて、美味しいきゅうりがありがとうございました。今度遊びに行くときはトマトもお願いします。



きゅうりが
教えてくれたこと。
～人のやさしさは、心に染みる～

第69回国民体育大会 第14回全国障害者スポーツ大会 開催決定!!

～君の夢 はばたけ今 ながさきから～

平成26年秋の国民体育大会「長崎がんばらんば国体」の開催が正式に決定しました。本県での国体開催は、昭和44年の第24回大会以来、実に45年ぶりです。また、本県では初めての開催となる第14回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」が国体に続いて開催されます。大会愛称の「がんばらんば」は「がんばろう」という意味の長崎の方言。全国から集まる選手も観客も、そしてスタッフもお互いがんばろうという応援の言葉で表現しています。

「長崎県らしい、魅力あふれる大会」を基本目標に、すべての県民が「おもてなしの心」をもって参加する「県民総参加国体」を目指し、3年後の開催に向けて盛り上げていきます。



大会マスコット
「がんばくん」

平成26年 10月12日(日)～10月22日(水) **長崎がんばらんば国体 2014**

11月 1日(土)～11月 3日(日・祝) **長崎がんばらんば大会 2014**

長崎国体の情報が満載のホームページはこちらから

2014長崎国体

検索

広報誌「がんばくん通信」を県や市町の窓口で配布しています。あわせてぜひご覧ください。

県の大会総務課 tel.095-895-2791

よみがえる平戸オランダ商館

17世紀初頭の大航海時代、東インド会社の東アジアにおける貿易拠点であった平戸オランダ商館。日本で初めて建てられた西洋建築物(1639年築造倉庫)が復元され、9月20日に資料館として開館しました。1609年の平戸オランダ商館設置から、鎖国によって貿易の窓口が長崎の出島に移されるまでの33年間、平戸は国内外の商人たちで賑わい、繁栄を極めました。そんな歴史を体験できる場として、また、平戸瀬戸を望む景勝地を憩いの場として、「よみがえる平戸オランダ商館」をぜひお訪ねください。



復元された平戸オランダ商館

平戸オランダ商館 tel.0950-26-0636

TOPICS トピックス

「孫文・梅屋庄吉と長崎」プロジェクト新展開!!



程永華大使(写真左)らとともにプロジェクトを説明する知事

辛亥革命の指導者・孫文と、その活動を物心両面で支えた長崎出身の実業家・梅屋庄吉との関係を顕在化・PRすることで、長崎のさらなる魅力の向上・発信につなげようと展開している「孫文・梅屋庄吉と長崎」プロジェクト。その主な取り組みを、8月3日、中村知事や中国国務院新聞弁公室の林伯承氏の出席のもと、福田康夫元首相、程永華中国駐日本大使、梅屋庄吉のひ孫である小坂文乃氏をゲストにお招きし、中国駐日本大使館(東京)で発表しました。

プロジェクトでは、中国から長崎県への孫文・梅屋夫妻3人像の寄贈、長崎県から上海市への梅屋像の贈呈、10月1日から長崎歴史文化博物館において特別企画展「孫文・梅屋庄吉と長崎」の開催などが計画されています。

5年に1度の“和牛の祭典”を開催!!



大会マスコット
「かさべこくん」

全国の優秀な和牛を一堂に集めて優劣を競う5年に1度の「全国和牛能力共進会」が、来年10月、初めて長崎県で開催されます。和牛改良の成果を競う「種牛の部」と肉質を競う「肉牛の部」に長崎県をはじめ38道府県の代表牛491頭が出品され、それぞれの部門で頂点を目指します。

第10回全国和牛能力共進会
和牛の祭典
in ながさき

日程 平成24年10月25日(木)～29日(月) ※島原会場は平成24年10月26日(金)～28日(日)

会場 佐世保メイン会場／ハウステンボス 島原会場／島原復興アリーナ(島原市平成町)

一年前イベントが開催されます!

長崎和牛の試食会やステージイベントなど盛りだくさんです。皆様のご来場をお待ちしています。

平成23年10月29日(土) 佐世保島瀬公園／10:00～17:00 島原復興アリーナ／11:00～17:00

第10回全国和牛能力共進会長崎県実行委員会 tel.095-894-3807

第10回全国和牛能力共進会

検索